

堂

二〇一六年二月二〇日朝、快速みえ1号で松阪へ。松阪駅前の観光情報センターで「本居宣長コース・国学の道」というブックレットをもらったので、このルートに従って歩くことにした。

喜

冷たい雨が降っている。松阪駅前から新町通を進んで、日野町交差点にあるカリヨンビルが新上屋という旅館があった場所である。本居宣長が賀茂真淵の宿泊する新上屋を訪ねて対面したことが「松坂の一夜」として知られている。現在は「新上屋跡」の石碑が建てられている。

欣

伊勢街道を雨の中をとぼとぼと歩く。大手通に入り、少し進んでから右折すると本居宣長旧宅跡がある。本居宣長旧宅跡は、特別史跡になっているが、建物は松坂城跡に移築されたので今は礎石だけが復元されている。離れ（長男の春庭が住んでいた）と、土蔵、庭の松は残されているが、十二歳から七十二歳まで暮らした場所にしてはちょっと寂しい。

松阪市役所の前を通り、松坂城跡に到着。まっすぐに本居宣長記念館に向かい、開催中の冬の企画展「本居宣長、本を出す」展を見る。宣長の全著作が展示されているという。一時から一二時までの「館長による展示説明会」に合流して、じっくりと見る事ができた。

雨は降り続いていた。四五百の森の「本居宣長ノ宮」に参詣する。本居宣長歌碑のある松阪神社、御城番屋敷に立ち寄り、同心町と呼ばれる区域を通り、旧三重県立工業高校製図室（赤壁校舎）の外観を見ながら、新町通に戻ってきた。本居家の菩提寺、樹敬寺に立ち寄る。一族の墓の中に、宣長夫妻と春庭夫妻の墓が背中合わせに立っている。ともに国史跡に指定されている。

K O ひみ

陳起 M

